

●令和7年12月1日発行 ●発行所/明治用水土地改良区 〒446-0065 愛知県安城市大東町22-16 ☎(0566)76-6241 ●責任者/石川克則
●ホームページ : <http://www.midorinet-meiji.jp/> ●E-mail : meijiyou sui@midorinet-meiji.jp



◆◆◆◆◆ 啓発活動の取り組み ◆◆◆◆◆

水のかんきょう学習館は、明治用水に関わる「水・農・食・環境」について楽しく学ぶことをテーマに、平成23年5月に通水130年記念事業の一環としてオープンしました。

学習館では、明治用水開削の歴史、水源かん養林のはたらき、水利施設の仕組み等について学べるパネル展示のほか、校外学習や体験プログラムなどの啓発活動も行っており、その一例として8月開催の「豆腐を作ろう」では、株式会社 おとうふ工房いしかわ様を講師にお招きして、豆腐作り体験をしていただきました。定員を大幅に越える応募で、参加された親子からは「農作物の恵みを体感できた」と大好評でした。

水のかんきょう学習館では、これからも様々な体験学習を通じて明治用水に親んでもらえるよう、啓発活動に努めてまいります。

令和7年度の取り組み



明治水土地改良区 理事長 石川 克 則

初冬の候、組合員の皆様には、ますますご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、平素より当改良区の業務運営や事業推進に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、令和の米騒動とも呼ばれる米不足で、備蓄米が市場に出回る令和7年6月上旬まで各地で品薄状態が続いていました。高温障害により米の品質劣化や精米時の歩留まり減など様々な要因が重なり、流通量が減少し米価格の急騰に繋がったと思われます。これを受けて政府は備蓄米放出で対応したものの、今なお不透明な状況にあります。今後、米ばなれが進行しないこと、また、肥料・燃料などの生産費が上昇する中、適正な価格形成が行われることを願っております。

近年、南海トラフ地震の発生確率が高まり、農業水利施設における地震対策の計画的な整備が重要な課題であります。矢作川総合第二期地区については、明治本流上流部のシールド工事の掘進が完了し、工事が順調に実施されております。また、明治用水頭首工復旧工事については、頭首工左岸側のP1堰柱及び洪水吐き堰本体を再構築する工事を実施しており、令和9年6月には全ての工事が完了する予定であります。

当改良区は、明治用水頭首工で農業用水・工業用水・上水を取水し、頭首工を始めとする水利施設は社会的重要なインフラであり、これらの施設をしっかりと守り後世に引き継いでいく使命があります。今後もこの地域が更なる発展を遂げられるよう管理運営に努めてまいりますので、引き続き組合員並びに関係者の皆様にはより一層のお力添えをお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝を心から祈念して挨拶とさせていただきます。

国営総合農地防災事業「矢作川総合第二期地区」の近況



東海農政局矢作川総合第二期農地防災事業所 所長 長 山 政 道

明治水土地改良区役員、組合員、事務局の皆様におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、耐震化対策を進める国営総合農地防災事業「矢作川総合第二期地区」等の推進にご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

まず、令和4年に漏水事故が発生しました明治用水頭首工の状況ですが、既に仮復旧し、現在、完全復旧に向けて漏水箇所である左岸側第1堰柱を一旦取り壊し、令和8年6月までに再構築すべく工事中です。その後、右岸側の恒久止水対策を行い、令和9年6月には復旧工事を全て終える予定です。

また、本年4月には、明治本流上流部を複線化するトンネル水路2.8kmの掘進が完了しました。今後、本流に接続する施設を整備し、令和11年から供用を開始する予定です。

引き続き、工事施工にあたり、特に現場周辺の皆様方には、交通規制や騒音、振動、土埃など、ご不便やご迷惑をおかけしておりますが何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

ところで、本事業は平成26年に着工以来11年が経過し地域状況の変化等から事業計画の見直しが必要な状況です。現在東海農政局では、関係市町、土地改良区等構成されている事業の推進協議会で本年6月に議決された、①老朽施設の更新整備の一部追加、②鹿乗川エリアを含む矢作川沿岸地区の本地区への組み込みという方針に沿って、計画変更作業を実施しています。変更事業計画(案)を令和8年に受益者にお諮りし、9月以降の同意取得を予定しています。事業推進へのご理解、ご協力をお願いします。

最後に、明治水土地改良区の皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げます。

主な行事の報告 (令和7年4月～令和7年11月)

4月	明治用水女性部及び青壮年部総会 明治川神社通水式典	8月	農業用水展 (子ども絵画展)
5月	明治用水女性部水源かん養林視察 (山間地産業体験)	9月	役員先進地視察研修 (佐賀県：筑後川下流右岸地区等)
6月	総代研修会	10月	臨時総代会 都築弥厚生誕260周年記念ウォーキング
7月	国営・県営事業等の促進要請活動 タイ国農業組合省王室かんがい局視察	11月	国営・県営事業等の促進要請活動



女性部山間地
産業体験
(植菌作業)



東海農政局長に
提案書を手交



総代研修会
(明治用水頭首工)



役員研修
(筑後川下流
右岸地区視察)

令和6年度の財務状況について

一般会計収支決算

単位：円

収 入		支 出	
科目(款)	決算額	科目(款)	決算額
1 組合費収入	235,332,200	1 土地改良事業費	428,291,950
2 土地改良事業収入	153,427,427	2 一般管理費	459,469,114
3 附帯事業収入	183,843,527	3 附帯事業支出	27,838,237
4 特定資産運用収入	42,128,496	4 負担金等	6,932,980
5 補助金等収入	217,478,682	5 借入金返済支出	0
6 固定資産貸付収入	38,551,380	6 固定資産取得支出	0
7 受託金収入	221,966,363	7 積立金繰出支出	375,343,436
8 雑収入	30,348,551	8 積立金取崩支出	27,850,039
9 借入金収入	0	9 他会計繰出支出	10,560
10 積立金取崩収入	176,938,996	10 予備費	0
11 固定資産売却収入	835,209		
12 他会計繰入収入	456,600		
13 繰越金	49,916,090		
収入合計	1,351,223,521	支出合計	1,325,736,316
差引残金 25,487,205円(次年度へ繰越)			

特別会計収支決算

●中井筋小水力発電事業特別会計

収入／5,889,334円 支出／5,889,334円
差引残金／0円

●パイプライン修繕事業特別会計

収入／36,733,657円 支出／36,583,868円
差引残金／149,789円

財産の現在額

令和7年3月31日現在 単位：円

資 産	流動資産	336,204,659
	固定資産	29,919,480,252
	資産合計	30,255,684,911
負 債	流動負債	309,718,727
	固定負債	335,487,659
	負債合計	645,206,386
正味財産		29,610,478,525

国営総合農地防災事業「矢作川総合第二期地区」の実施状況

本事業では、昨年度は豊田市渡刈町、鶯鳴町内の明治用水路を複線化するトンネル工事のほか、非かんがい期に、安城市里町、浜屋町内の明治用水路の耐震化等を実施しました。今年度はトンネルの出入り口部の施設造や、非かんがい期からは豊田市上郷町、安城市里町内の明治用水路の耐震化等を実施しております。

また、平成29年より稼働している、中井筋小水力発電所ですが、日平均477kWh（9月）の発電を行っており、順調に稼働しているところです。

引き続き、工事施工に当たり、特に現場周辺の皆様方には、ご不便やご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

明治本流(上流部)シールド工事

令和7年4月にトンネル水路(2.8km)の掘進が完了しました。



明治本流(下流部)工事(里・浜屋工区)

令和7年3月に完成(現在、既設水路を取り壊し中)



中井筋小水力発電所

平成29年より順調に稼働中!



地区除外申請の受付締切日の変更のお知らせ

書類提出期限

【変更前】3月31日 【変更後】3月15日(ただし15日が休日の場合は前平日)

決済金のお支払いについて

納期限を3月31日までとさせていただきます。納期限までに納付されない場合は、次年度の組合費賦課の対象となります。お支払いいただく決済金につきましても、次年度単価で再計算いたしますのでご注意ください。事務処理効率化のため、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

明治用水通水150年記念に向けて

～地域の発展を支えた明治用水～



1880(明治13)年に開削されて以降、明治用水は一日の暇もなく碧海台地を流れ、実り豊かな農地を育んできました。農業用水の供給は、指導者や生産者の努力とも相まって農作物の生産を飛躍的に向上させ、一大穀倉地帯となった碧海の地は、全国に誇る農業先進地へと生まれ変わりました。時代を経てさらに工業の分野にまで及んだ水の恩恵は、都市化と融合し調和のとれた現在の地域発展の礎をも築き上げました。

そして来る令和11年には、明治用水通水150年という大きな節目を迎えます。当土地改良区ではホームページのリニューアル、書籍の発行、イベントなどの企画で地域の皆さまとの交流を図りながら、周年記念事業としての取り組みを進めてまいります。